

患者ではなかった昨日に、患者ではない明日を

かし わば

柏葉脳神経外科病院広報誌

特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
TEL.011-851-2333

vol.54
2020.2

専門医が解説する認知症治療
高齢になると
誰もが認知症に

柏葉脳神経外科病院 認知症診療・手術アドバイザー 寶金 清博

高齢になると 誰もが認知症に

早期発見・早期治療で、元気に長生きしましょう

「恥ずかしい」「人間らしさが失われる」「家族の生活もダメになる」などの誤解や偏見が根強い認知症は、なりたくない病気の一つに挙げられています。しかし、近年の研究で認知症の病態が徐々に明らかになり、その治療方法も進化しています。今回は認知症治療の最前線を紹介します。



柏葉脳神経外科病院
認知症診療・手術アドバイザリー

ほうきん きよひろ
寶金 清博

北海道大学大学院保健科学研究院
日本脳神経外科学会専門医
認知症サポート医

高次脳機能創発分野 特任教授
日本脳卒中学会専門医

【略歴】

2000年 北海道大学脳外科助教授
2001年 札幌医科大学脳神経外科教授
2010年 北海道大学脳神経外科教授
2010年9月 北海道大学病院 副病院長
2013年4月 北海道大学病院 病院長
2019年9月 北海道大学名誉教授
現職

【主な役職】

日本脳神経外科認知症学会理事／日本脳神経外科学会理事／日本脳循環代謝学会理事／日本脳卒中の外科学会理事／日本脳卒中学会理事／米国脳神経外科アカデミー会員／日本学術会議会員

【受賞歴】

1995年 かなえ医学助成賞
1998年 日本脳卒中の外科学会賞（鈴木賞）
1999年 北海道医師会賞・北海道知事賞
2011年 美原賞

これからの認知症治療は 軽度認知障害「MCI」の早期発見から

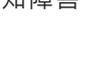
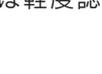
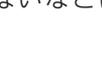
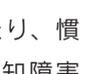
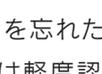
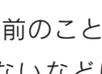
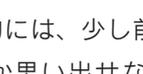
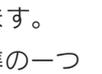
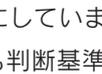
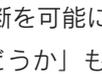
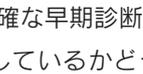
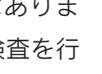
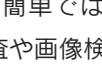
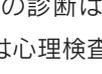
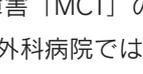
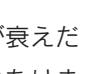
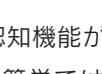
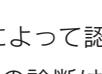
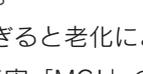
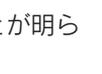
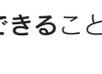
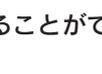
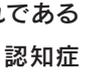
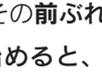
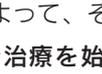
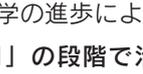
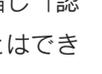
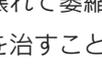
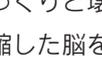
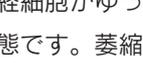
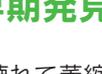
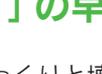
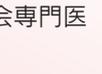
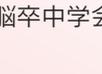
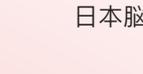
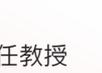
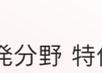
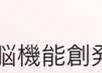
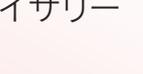
認知症は、脳の神経細胞がゆっくりと壊れて萎縮し「認知機能」が衰えた状態です。萎縮した脳を治すことはできませんが、近年の医学の進歩によって、その前ぶれである軽度認知障害「MCI」の段階で治療を始めると、認知症の症状を改善できたり、遅らせることができることが明らかになってきました。

誰もが60歳を過ぎると老化によって認知機能が衰えだすため、軽度認知障害「MCI」の診断は簡単ではありませんが、柏葉脳神経外科病院では心理検査や画像検査を行い、専門医による正確な早期診断を可能にしています。

「日常生活に影響しているかどうか」も判断基準の一つになります。具体的には、少し前のことを忘れたり、慣れた道順をなかなか思い出せないなどは軽度認知障害



柏葉脳神経外科病院



「MCI」ですが、自分の名前を忘れてたり、一人で自宅に帰ることができないなどの状況があれば認知症と診断されます。認知症が進むと画像検査で脳の萎縮が確認できます。

認知機能とは

五感（視覚、聴覚、触覚、臭覚、味覚）情報を理解し判断し、考えることができる知的機能を総称した概念です。



誰もが認知症になる 人間の一生は「生看老認病死」

仏教には「生老病死」という言葉がありますが、これからの時代は「生看老認病死」となり、「老いる前に親を見て、老いたら認知症になる」のが当たり前になるといえます。認知症は老化に伴い誰もが発症し、軽く済む人もいれば、症状が強く出る人もいるのではないかと考えています。

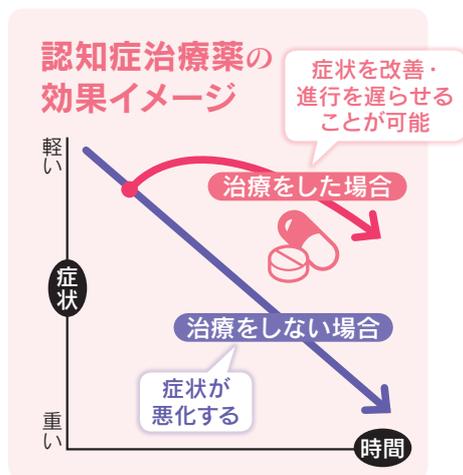
高齢になったら、定期的に脳の健康診断を受け、「MCI」の段階で早期治療を行うことが重要になります。認知症の症状を抑えられれば、仕事を続けたり、旅行も思う存分楽

しむことができます。

治療は薬物療法のほかに、運動療法、脳トレーニング、音楽リラックス法、回想療法などがありますが、効果の出方には個人差があり、標準的な治療法はまだ確立されていません。しかし、不治の病だったがんの治療法が確立されたように、認知症も医療技術で治療できる時代がくるに違いありません。

高齢化が急速に進む日本で増加する認知症。その患者さんを「困った人」「やっかいな人」と社会から除外せず、「予防・早期治療」と「共生する社会」の2本立てで乗り越えられるのではないかと考えています。

当院の「もの忘れ外来」では専門医2人体制で診療しています。気になる変化があったら気軽にご相談ください。



脳の健康診断を受けましょう！

認知症は専門医の検査によって診断できます 認知症の検査に、つらい検査はありません



問診

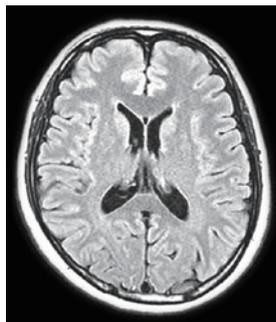


心理検査

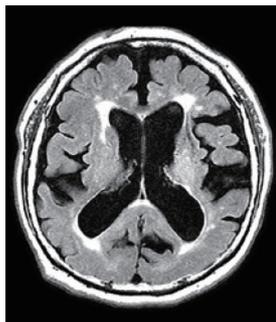


画像検査 (MRI)

正常な脳の画像



認知症の脳の画像



予約制

もの忘れ外来のご案内

診察日 お電話でご確認ください

担当医師：寶金清博・吉田一人

予約電話番号 ☎ 011-851-2370

予約受付時間

平日	8:30 ~ 11:30	13:00 ~ 16:00
土曜日	8:30 ~ 11:30	



新任医師 着任

脳と心臓の両方を診ることが重要です

京都で生まれ、伊丹、大阪で育ち、北海道大学で学びました。循環器内科医として、2019年10月から柏葉脳神経外科病院に勤務しています。

脳神経外科を受診する患者さんの高齢化が進んでいますが、脳と心臓は関連が深く、脳血管障害の患者さんには心臓や血管の病気が隠れていることが少なくありません。脳と心臓の両方を一緒に検査することで、初めて全身の状態を診ることができます。どちらも緊急性の高い疾患ですから、循環器内科医が治療や経過管理を行うことが大切です。

高校時代はテニス部に所属。健康づくりとリフレッシュ効果があるので現在も続けています。休日には中1の長女、小5の次女、小1の長男の3人と一緒にテニスを楽しんでいますが、留学していたアメリカと比べて日本では屋外でのテニスコートが少ないので頻度が減ってしまいました。これからは、室内コートで楽しみたいと思います。



みずしまわたる
循環器内科 水島 航

【略歴】

2004年 北海道大学医学部卒業
道内の複数の病院で臨床を経験し、北海道大学大学院で5年間、アメリカ留学で3年間、基礎研究に打ち込む。

日本循環器学会専門医
日本内科学会認定内科医

特定医療法人 柏葉脳神経外科病院

脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
〒062-8513 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
電話(代) 011-851-2333 FAX 011-851-2131
URL <http://www.kashiwaba-nougeka.or.jp>

救急指定病院 救急患者さんは、診療日・診察時間を問わず
24時間診察いたしております



外来診療	脳神経外科 脳神経内科 <small>予約制</small> 循環器内科 <small>予約制</small>	受付電話番号 011-859-5636	受付時間 平日 8:30～11:30 13:00～16:00 土曜日 8:30～11:30 日・祝 休診
専門外来	もの忘れ外来 <small>予約制</small> 痙縮・顔面痙攣外来 <small>予約制</small> 脳動脈瘤外来 <small>予約制</small>	受付電話番号 011-851-2370	
脳ドック			

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、高度な脳の専門病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します